

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                       |            |            |
|---------|-----------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 4190900045            |            |            |
| 法人名     | 有限会社 エムエス             |            |            |
| 事業所名    | グループホーム 紫陽花の路         |            |            |
| 所在地     | 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲4714番地6 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成25年1月23日            | 評価結果市町村受理日 | 平成25年6月18日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html">http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 評価機関名 | 公益社団法人 佐賀県社会福祉士会  |
| 所在地   | 佐賀県佐賀市八戸溝一丁目15番3号 |
| 訪問調査日 | 平成25年3月25日        |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携体制が整っているので毎日のリハビリテーションや急変時等すぐに対応ができる。また、併設の歯科もあり嚥下体操や口腔ケアの指導もあり入居者様、ご家族様も安心されています。法人全体の勉強会や関係医療機関の研修等に参加しレベル向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

有名な温泉地に建てられ、ホーム内は、白い壁と吹き抜けの天井で室内は明るく、清潔感が感じられる。敷地内には、デイサービスが併設され、24時間サポートが受けられる病院がある。定期受診や毎日の医療リハビリ、併設の歯科では、嚥下体操、口腔ケアの指導が受けられる体制づくりができています。地域の保育園との交流、誕生会等の催しが行われ、ホームの理念に基づき安心して生活ができるよう取り組まれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |                       |   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|--------------------|-----|---|---|---|---|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                                 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | より良いケアを目指すために、理念を共有し入居様に向き合えるようにホーム内に掲示し朝礼時に唱和し実践に繋げている。定期的に管理者との話し合いの場を持つようにしている。                              | 運営理念のもと、朝礼時に唱和し、また、ホーム内に掲示し日々の業務で確認でき、実践につなげられるように配慮されている。  |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 運営推進会議を通して地域の行事等の把握をし地域の保育園などの交流。月1回併設の病院、クリニック、ホーム周辺の清掃活動を行っている。また、毎日、クリニックのリハビリに行く事で近所の方やデイケア利用者様との交流が行われている。 | 地域の保育園との交流や清掃活動へ参加したり、夏祭りや誕生会では、地域の方をホームに招き日常的に交流できるように努められている。   |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 散歩などを通し地域の方や地域の子供達に挨拶を交わすことでグループホームの事を理解して頂く様に努め行事等を通し認知症の方の理解を深めて頂いている。  |   |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 定期的開催し入居者の生活状況や健康状態、行った行事の報告、予定の行事等の報告を行い、意見交換をしている。  | 運営推進委員会は、2ヶ月に一度開催されている。行政、家族、地域の方が参加され、行事や業務の報告が行われている。質疑応答がし易い雰囲気を作られ、意見交換感が行われておりサービス向上へ活かす取り組みがなされている。 |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 運営推進会議に地域包括支援センターより出席して頂き、地域との情報を頂くことがある。   | 運営推進委員会での包括支援センターとの連携や、直接福祉課へ出向き、事業所の実情等を相談し、協力関係を築くように日々努められている。   |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 入居者の安全の為にベッド柵を使用することがある。その際はご家族に説明し理解を得ている。職員は併設の医療機関の身体拘束委員会に出席している。   | 現在、身体拘束などは行われていない。参加できる職員は、併設医療機関の身体拘束委員会に参加し、正しく理解し、日々のケアに取り組んで行くよう取り組みがなされている。                          | 全ての職員が身体拘束への理解を深められるように、伝達研修や研修へ参加できる体制づくりを期待したい。 |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 研修会や勉強会に積極的に参加するように努め、言葉づかいや接し方で気づいた時は職員間で注意し合うよう心掛けている。  |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 該当する入居者がおられず支援する事はなかった。今年度は研修会は参加できなかった。ので来年度は積極的に参加したい。                       |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 重要事項説明書や契約書の内容を十分説明し、不明な点や疑問点などには丁寧に答えるように努めている。内容に変更があった場合は説明を行い同意を得るようにしている。 |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 利用者には直接意見を聞くようにし、家族には面会時に声かけるようにしている。運営推進会議の案内を出し、出席された際にも尋ねるようにしている。          | 家族へは、面会時や電話で情報をお伝えしたり、意見や要望を聞いている。入居者や家族の意見、要望を、職員の共有ノートに記載し、運営に反映できるように努めている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 定期的に代表者と管理者と職員で話し合いの場を設けるようにしている。  | 代表者と管理者が兼務している為、職員の意見や提案をその都度聞き、迅速に運営に反映できるように取り組まれている。                        |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 勤務表作成の前に希望休みを取り勤務票の中に反映させている。職員からの相談にも乗っている。                                   |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 併設医療機関と合同で行われている各委員会への参加や学習会や研修会への参加を勧めている。                                    |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同敷地内にグループホームがあり職員同士で情報交換を行い、良い所は積極的に業務の中に取り入れている。                              |  |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前にご本人に面談し困っていることや要望を聞き、入居される前に職員間で情報を共有し、本人に不安を与えない様に表情の観察、言葉かけにも配慮しスムーズに生活して頂けるように心がけている。           |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前にご家族に面談を行う際には困っている事や要望等を気軽に話して頂けるように傾聴し言葉かけには気をつけて接するように配慮している。                                     |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入居者及び家族の意向をよく聞き、併設事業所や他のサービス等の案内も行っている。  |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 家族と言う気持ちで接している。本人がやりたいとされている事は共に行き、楽しく生活して頂けるように職員一同心がけている。  |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 毎月、生活状況を記した手紙を送っている。直接伝えたい時は電話連絡をしたりしている。  |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 家族をはじめ入居者の友人等の訪問がある時はゆっくりと面会して頂くように心がけ、再来して頂けるよう言葉かけを行っている。又、病院受診を通し近所の方との交流も会ったりするので遊びに来て頂くよう声かけしている。 | 外出時は、馴染みの場所へ立ち寄りたり、今まで利用していた理容室へ行く等、関係が途切れないよう、支援がなされている。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 個々の個性を把握した上で共に食事やレクレーション、行事等に参加する事で関係を深め孤立されないように入居者間の仲介を行い、座られる場所にも気をつけている。                           |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | これまでの関係を大切に、契約終了後も相談に応じている。   |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日常会話や表情、家族からの情報、気づき等を記録に残し、スタッフ間で共有し個別ケアに繋げている。                       | 一人ひとりの希望や意向を、日常会話や表情から把握し、職員間で共有できるように個別のノートに記載しケアへ繋げるように努めている。                     |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居時のアセスメント聴衆時に訪問するように努め、他の方面からも情報が得られるように努めている。                       |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 毎日の健康チェックや身体状況の観察を行い、一日の状況を記録し職員が把握できるようにしている。                        |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画は本人、家族の意向を基に作成している。モニタリングや計画書見直し時はカンファレンスを行い、その都度修正している。          | 本人、家族、介護担当者と話し合いを行い、意向や意見を取り入れた介護計画を作成している。定期的にモニタリングを行い、現状に即した介護計画を作成するように努められている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | チェック表を作成し、ご利用者の状況等をこまめに記録するようにして、気づきや申し送りなどはノートに記録して職員間で共有できるようにしている。 |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人や家族の希望を極力取り入れてサービスに繋げるようにし、日々の生活が単調にならないように努めている。                   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |   |
|----|------|---|---|---|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                                     |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 民生委員の方の訪問や馴染の美容師を依頼するなどの関係を築いている。   |   |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 併設の医療機関がかかりつけ医の方は職員が受診介助を行い主治医に日頃の状況を伝えている。他の医療機関を受診される方は家族に依頼しお願いしている。その後状態報告と内服確認を頂いている。家族の希望があれば主治医と会い話を聞いてもらっている。 | 併設医療機関がかかりつけ医の場合は、職員が受診支援を行い、日頃から情報共有がなされている。他の医療機関の受診の場合は、家族が受診を行い、診察の報告、内服薬等の確認を行うように支援している。    |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 担当看護師が訪問した際にスタッフが利用者の状態を伝えるようにし、自己判断せず看護師の指示を仰ぐようにしている。   |   |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は情報提供用紙を作成し病院関係者に情報提供を行い、こまめに面会に行くようにし病院関係者と情報交換を行っている。  |   |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | これまでに看取りはないが、状態変化時等、随時説明を行っている。   | 入所時、事業所の方針を口頭で説明し、身体状態の変化が生じた場合は、その都度、本人、家族等へ説明がなされ意向をその都度確認している。今後は、看取りについても文章での説明を行うように考えられている。 |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 併設医療機関の勉強会に参加し対応できるようにしている。   |   |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 火災については年に2回訓練を実施している。入居者の身体状況により避難の方法が変わるので職員で話し合いを行っている。   | 年2回火災訓練が行われ、日頃から地域の方への呼びかけ、協力体制を築くように努められている。夜間での訓練はまだ行われていない。                                    | 夜間想定火災訓練や地震等の災害時の対策についても、地域との具体的な連携、協力体制を築けるように期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 馴れ合いにならないように言葉づかいには気をつけ、プライバシーを傷つけないように大事な話の時は居室で話をするようにしている。                           | 馴れ合いにならないように、言葉づかいに気を付け、職員間でその都度確認し、尊重しプライバシーを損ねない支援がなされている。   |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 自己決定できるような雰囲気作りに努めると共に表情や行動から、その方の思い等を理解できるように心がけている。                                   |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の意向に沿って支援できるように本人の意向を確認するようにしている。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人や家族の希望を聞き散髪を依頼したり、その日に着る洋服を選んでもらったりしている。また、化粧品等の購入については家族に電話し支援してもらっている。              |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 入居時に好き嫌いの確認をし苦手な物に関しては代替食にて対応したりしている。また、個々の摂取状態に合わせた食事形態をとっている。入居者の能力に応じできる事は手伝って頂いている。 | 馴染みの食器を使用したり、好き嫌いの確認をし、苦手な物は代替食で対応する等、一人ひとりの好みにあった支援がなされている。また、おやつ作りを入居者と職員と一緒に、食事が楽しみなものになるよう支援されている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 併設法人の管理栄養士による献立で栄養バランスは整っている。個々の嚥下状態に合わせた食事形態をとり、食事摂取量のチェックを毎食行い、水分補給にも努めている。           |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後、入居者の状態に合わせた口腔ケアを行っている。定期的に併設法人の歯科より歯科衛生士が訪問され口腔状態を確認してもらっている。                       |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 自立に向け定時と希望時はトイレ誘導を行い、能力に応じポータブルトイレを使用している。  | 一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、出来るだけオムツを使用しない支援がなされている。夜間は身体機能に応じてポータブルトイレを使用する等、排泄の自立にむけた支援がなされている。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 毎日、排便チェックを行い便の状態を確認している。食物繊維の多い食事を提供したり、水分摂取を多めにしたり、腹部マッサージを行ったりしている。   |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 毎日の入浴を心がけているが、本人の希望を尊重し体調に合わせてながら気持ちよく入浴して頂けるようにしている。   | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせる事ができるように、毎日お風呂を提供している。入浴を拒否される方へは、声かけの工夫を行い無理強いしない支援がなされている。                 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 入居者の生活パターンが分かっているので声かけし本人の意向を確認しながら休息してもらっている。症状に応じては足を拳上したり安楽に休んで頂くように工夫している。居室の湿度や温度をチェックして快適に睡眠できるようにしている。 |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬局からの服薬説明書を薬ノートに貼り、誰が見ても分かるようにし用法用量を理解している。症状の変化がみられた時は看護師に報告し指示を仰ぐようにしている。                                   |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 誕生会、敬老会、夏祭りを開催したり、地域の行事(おくんち)で来て頂いたりしている。また、日々のレクリエーションも楽しんで頂けるよう工夫している。毎日の生活でできる事を手伝って頂いたりしている。              |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日は施設周辺を散歩したり、近隣のスーパーに買い物に行ったりしている。併設法人の通所サービスの利用者の方達と一緒にバスで花見に行くなど他所との交流も兼ね外出支援をしている。                    | 一人ひとりの希望に応じて、近隣のスーパーへ買い物へ行ったり、散歩等日常的な外出支援がなされている。   |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金を所持し管理する事が困難な方が多く、お金を所持されている方はおられない。必要時にご家族に電話して対応したりしている。買い物については職員と一緒に外出し対応している。                           |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 入居者様が希望された時に手助けを行っている  |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有の場の壁には季節感を味わって頂けるように季節に合わせた装飾を施している。空気加湿清浄機を設置し臭いや湿度に注意している。天井には空気を循環させる為に扇風機を設置。又床暖房、エアコンを上手く活用し温度調整を行っている。 | 壁に季節感のある飾り物を掲示したり、施設敷地内に咲いている花を飾り、あたたかい雰囲気を感じられる。空気清浄機が設置されており、臭いも無く心地よくすごせるような工夫がなされている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | ホールで他入居者様と談話をしたりテレビを視聴したりして過ごされている。また、一人で過ごされたい時は居室に戻られゆっくり自室でテレビ視聴をされたりして思い思いに過ごされている。                        |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居前の面談時に本人が大事にされている物や使い慣れた物など、又持参したい希望の品については許容範囲内で持参して頂くように話している。   | 使いなれた家具や大切にしていた物を居室に飾り、居心地よく過ごせるように配慮がなされている。居室ドアの色と入居者の下駄箱の色を同じにし、生活しやすく工夫されている。         |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 廊下、トイレ、風呂場等必要な場所には手すりを設置されている。   |   |                   |